

ウェルおおさか

大阪の福祉を知るみんなの情報誌

vol.103 2016.8 隔月発行（偶数月1日）

特集

地域福祉課題の解決を目的とした、 誰もが利用しやすい居場所づくり

- 講座案内
- 図書・資料閲覧室からのお知らせ



大阪市社会福祉研修・情報センター <http://www.wel-osaka.jp>

地域福祉課題の解決を目的とした、誰もが利用しやすい居場所づくり

「ここに来たら、ホッとするなあ」「話していたら、元気が出てきたわ」。そんな場所が身近にあったらいいと思いませんか？学校や職場、家庭とは違うもう一つの場所、さまざまな世代が自由に参加できる場所、妊婦さんも子育てママも、障がいのある人もない人も、そこにきて誰もがホッとくつろげる「場」。

今、誰もが気軽に参加し交流できる「居場所カフェ」が全国的に広がっています。今号では、市内3つのカフェを通して、居場所カフェのありかたについて考えてみます。

居場所カフェ、4つのタイプとは？

居場所カフェは、いろいろな形で展開されています。最初から、テーマや目的がはっきりしているものや、そうでないのがあります。「来る人によって、カフェの形が変わっていく」「スタートしていきながら中味をつくり上げていく」ところも多く見られます。こうしたゆるやかなあり方は、居場所カフェの特徴といえます。

さわやか福祉財団のホームページには「ふれあいの居場所」として4つのタイプが紹介されています(図1)。世話好きの人を中心に誰かの家などで自然にはじまる「自然発生タイプ」、ゼロから居場所をつくる「単独タイプ」、食事や喫茶をメインにした「カフェタイプ」、既存事業を活用してつくった「併設タイプ」です。

今回、紹介する「併設タイプ」は、現在の活動の延長上にあり、今ある場所や人脈を活かしながら取り組んでいる居場所カフェです。

(図1)

1.自然発生タイプ

世話焼きの人を中心に、仕掛ける意識なく自然にはじまっているタイプ。例えば、ベンチや誰かの家などで、何人かがたまり場として集まっている。人間関係が濃密な地方で比較的多く見られる。



3.カフェタイプ

ふれあいを目的に食事や喫茶をメインにしたタイプ。ただ食事をするために行ってみようかな…と参加者が気軽に入りやすい雰囲気がある。人間関係が希薄な都市部などでも取り組みやすい。



異年齢の方々が居合わせた場合に配慮すること

居場所カフェは、子どもたち、障がい者、高齢者など、いろいろな人が集い、自分らしくいられる場所です(図2)。

高齢者と子どもが一緒にいる空間で、人によっては、子どもと一緒に疲れるなどという場合もあります。

そのような場合の配慮の一例として、高齢者だけでゆったりできる部屋と、小さな子どもとお母さんがゆっくりできる部屋と、みんなで集える部屋などいくつかに分けているところや、利用できる時間や曜日をずらす工夫をしているところもあります。

また、さまざまな人が実際に集うことで、子どもたちが高齢者に優しく接するようになったり、静かにするように気をつけたり、高齢者は生きがいを持ったり、いとおしい気持ちで見ていたりとお互いを思いやるような気持ちが生まれ育っているところも見られます。

(図2)

「居場所カフェ」の効果とは？

1.心がやすらぐ

多世代にわたるさまざまな人と出会い、刺激を受けたり、存在意義を確認し合ったりすることは、リフレッシュや精神の安定、高齢者の介護予防等にもつながります。

2.人間力がアップ

自分の能力を再発見したり、新たな自信が生まれたり、引きこもっていた人にとっては、外出や社会参加のきっかけとなります。子どもの場合は、主体性、社会性、リーダーシップが育ちます。

3.地域に仲間ができる

おしゃべりの中でお互いの理解が深まり、信頼関係が生まれます。介護や子育てなど、それぞれの抱えている問題や悩みを共有し、助け合えるようになります。

4.安心安全な地域につながる

顔の見えるあたたかい地域は、事故や事件を未然に防ぎ、安全で安心な地域づくりにつながります。

求められる居場所の姿

自分の存在を認識できる

人とのふれあい、助け合いの中で自分に自信を持つ

経験や能力を生かすことができる

自分の役割を見出すことで生きがいを作る

時間を自由に過ごすことができる

一人で読書や裁縫をするのもよし、みんなでおしゃべりをしたりゲームをするのもよし

誰もが利用できる

子ども、高齢者、障がい者、勤労者 および主婦といった様々な立場の人々

いつでも立ち寄れて、いつでも帰ることができる

(参考資料)公益財団法人さわやか福祉財団「ふれあいの居場所」
<http://www.sawayakazaidan.or.jp/ibasyo/index.html>

人が育ちあい、つながり合って、 地域を変えていく

仕事や用事が終わったら、そのまま家に帰るのではなく「お茶でも飲んで、一息してから」とは、多くの人が感じることではないでしょうか。

自宅でも、職場でもない、役割から解放され、一個人としてくつろぐことができる場所のことを、米国の社会学者レイ・オルデンバーグが「サードプレイス」(第三の居場所)として提唱し、自著『The Great Good Place』の中で、都市生活者に出会いや良好な人間関係を提供する重要な場であると述べています。「無料または安価で利用できる」「飲食が可能」「アクセスがしやすい(徒歩圏内)」「快適で居心地がよい」などがその特徴として挙げられています。

スターバックスなどの一般のカフェも、サードプレイスの一種でしょう。ここでとりあげている地域の居場所カフェは、一般のカフェよりも、さらに身近で敷居の低いものです。さまざまな原因で、課題を抱え、力が弱くなっている人たちを包みこむことができます。なぜなら、居場所カフェには、訪れた人の気持ちに寄り添う『人』がいるからです。

このように寄り添う人のいる居場所カフェは、今後、ますます求められるでしょう。さらには、カフェを拠点としてのまちづくりや地域の活性化にも期待が集まっています。

カフェをつくる上で大切なこと

カフェという概念は、幅広いもので自由に定義することができます。それゆえにカフェをつくる際は、意識しておくべき点があります。

ひとつは、主体を明確にすることです。コミュニケーションが主体なのか、栄養のバランスがとれた食事が主体なのか。また、既に地域で活動しているさまざまな居場所を調べ、今、何が必要とされているかも考慮したほうがいいでしょう。

次に、敷居を低くすることです。人々の居場所となるカフェは、ふらっと気軽に入りやすい、居るだけで肩の力が抜ける環境が望ましいといえます。一般の街のカフェに出入りするのに遠慮しがちな人が参加するならば、なおさらです。したがって、場所選びや

部屋の雰囲気づくりにも気を配る必要があります。

最後に、共感的なコミュニケーションを図ることです。居場所カフェでは、誰かれかまわず、元気に声をかけたり、話題を提供して場を盛り上げたりすることは勧められません。相手の心に寄り添い、共感すること、その人の持つ感情やエネルギー、その場の雰囲気に合わせていくことが重要です。



▲認知症カフェ「ほのぼの」運営グループ
「バリデーション・プロジェクト」
代表 出口 裕丸さん

学生が運営する認知症カフェ

例えば、私が関わっている認知症カフェ「ほのぼの」(柏原市主催、柏原市社会福祉協議会と本大学が共催)の場合、認知症の方とのコミュニケーション技術(バリデーション)を学んだ学生グループ「関西福祉科学大学バリデーションプロジェクト」が主体となって月2回、昭和の香りのする古民家でカフェを運営しています。

学生たちは、認知機能の低下により、言葉での会話が難しい人たちに対して、アイコンタクトをとったり、表情をあわせたり、からだにふれたり、非言語コミュニケーションで相手の気持ちに近づきます。

さらに、認知症の方に「自分の役割」を見出してもらいます。お世話することが好きな方には、お茶やお菓子を出してもらい、発言したい人には、参加者

関西福祉科学大学 社会福祉学部
教授 都村 尚子先生



への挨拶をやってもらうなど、その方の個性や能力に見合った、社会的な役割を復活させることで、表情が明るくなり、元気になります。

地域の居場所カフェは、学生にとっても非常に有意義な体験です。大学で学んだものを実践する場というだけでなく、運営を通じて、これまで関わりのなかった地域のさまざまな人たちと交流することで、社会性を身につけることができるからです。

さまざまな「地域人」が集う

居場所カフェは、いろいろな人が利用するオープンな場。そのためには地域との連携が不可欠です。連携することによって、ご近所さん、ボランティア、専門職などにも、カフェへ来てもらうことができます。カフェにきた人には、お互いがふれあう中で、それぞれの気づきや発見があるでしょう。居場所カフェは、地域の人たちが育ち合う場の役割も果たします。

カフェの増加とともに、出会いの場が増え、お互いを認め合うコミュニケーションが広がれば、社会での孤立感緩和され、地域は変わっていくでしょう。

理想は、わざわざ「〇〇カフェ」と言わなくても、誰もが気兼ねせずに気軽にはいりやすい空間が街のあちこちにある社会ではないでしょうか。



▲学生が運営する認知症カフェ「ほのぼの」



ひまわりネット(都島区)

ここに行けばなんでも相談できる

〈実施日〉

- ひだまり食堂 ● いいね!文庫
- 比嘉正子地域貢献事業研修センター
(いずれも平日10時~17時)

〈対象〉

親子、障がい児、介護者、どなたでも

〈特徴〉地域に根差した家族支援

ひまわりネットは、敷居の低い地域の相談窓口として「心」の居場所づくりを目指し、食堂や子どもの図書館などを設けています。

なかでも地域のカフェ的役割を果たしているのが1階相談室の隣に設置された「ひだまり食堂」です。子どもを中心に、地域の女性や高齢者ほか、同ビル内のスペースで行われている障がい児デイサービス帰りの親子、研修を受けにきた福祉従事者など、実にいろいろな人が立ち寄ります。

「ランチは、保育園の給食を委託している「メデッシュ・フード・サービス」が別に調理した「給食ランチ」を提供して

います。アレルギーにも配慮した安心安全な食材を使った栄養バランスのいいものをひとりで食べるよりみんなと食べると気持ちも元気になるます」と育児相談員・地域貢献支援員の岡本和江さん。

相談室では、介護、子育て、障がい、生活苦、近所の騒音などどんな相談も受け付けています。『「携帯の画面が真っ黒でどうしていいかわからない」と駆け込まれるお年寄りのお話もお聞きしてますよ』。

深刻な悩みがある時は、「ひだまり食堂」の空間が威力を発揮します。

「子育てに疲れたお母さんは、ご飯を食べながら『大変やったね』と一言いっただけで、わっと想いを吐き出してくれました。虐待されて飛び込んでくる少女も、ご飯と一緒に食べると、落ち着いていきます。しっかりと話を聞きとり、整理しながら、共感し、解決の糸口を一緒に考えていくのが私たちのスタンスです。ワンストップの切れ目がない支援が大切で、必要に応じ専門機関への橋渡しをしています」



▲1階のひだまり食堂でランチ、食堂の1カ月のメニューはHPで見れます

ちょっとした悩みから、深刻な悩みまで「ここならなんでも相談できる」信頼関係は法人の創始者・比嘉正子氏から続く85年間、地域に根差した活動が継続されているからでしょう。カフェを併設することでその敷居はより低くなっているようです。

〈場所・問い合わせ先〉

社会福祉法人 都島友の会

〒534-0021

大阪市都島区都島本通3-16-8

☎06-6925-1304



つるりっぷカフェ(鶴見区)

誰もが気軽に利用できる集いの場

〈実施日〉不定期

〈対象〉ものわすれが気になる方と家族を中心に、どなたでも

〈特徴〉

「カフェスタッフ」ボランティアが活動

「つるりっぷカフェ」は、ものわすれが気になる方やその家族を始め、誰もが気軽に利用できる集いの場です。大阪市の生活支援コーディネーターによる介護予防のモデル事業として、鶴見区社会福祉協議会が実施。現在、試験的に3月と6月、2回実施されたところ

です。
1回目のカフェは、社協の様々な部門の職員をスタッフとして開催



▲デイルームをカフェに有効活用

もが気軽に利用でき、自由にゆったりと過ごしていただけるのがカフェの特徴ですが、それだけではありません。「つるりっぷカフェには福祉の専門職がいるので、おしゃべりの延長でちょっとした相談も気軽にできます(生活支援コーディネーター・安藤美希さん)」

参加者の皆さんは、あたたかいコーヒーや区内障がい者福祉施設でつくられたおいしいパン、ギターの生演奏を楽しみながら、ゆったりと過ごされました。そして「とても楽しく過ごせた」「また参加したい」という声が多かったため、2回目のカフェ開催を決定しました。

2回目のカフェ開催に伴って、カフェスタッフボランティアの養成講座を実施。受講生はコーヒーの淹れ方や認知症について学び、実際につるりっぷカフェでカフェスタッフとして活動しました。「コーヒーをテーマに講座を開催したことで、ボランティア活動になじみのない方にもたくさん参加していただけたと



▲カフェスタッフが笑顔で大活躍!

思います(ボランティアビューロー・村山このみさん)」

2度のカフェ開催を終え、安藤さんはこれからの「つるりっぷカフェ」についてこう話します。「誰もが気軽に集まれる場として、今後も継続して取り組めるよう検討していきます。できれば、鶴見区内にこういったカフェがいくつもできると嬉しいですね」

〈場所・問い合わせ先〉

鶴見区社会福祉協議会

〒538-0051

大阪市鶴見区諸口5丁目浜6-12

☎06-6913-7070

＜実施日と内容＞

①カフェ(毎週 金・土・日曜10時～17時)
～ゆっくり、癒し、コミュニケーション～

②旭区医師会ものわすれ出張相談&
カフェ「町家クラブ」

(毎月 第2木曜14時～ 申込:旭区東
部包括支援センター、当日可)
～お茶を飲みながら～

- ①医師、専門職による医療や介護の相談
- ②専門職や認知症サポーターの方の
温かい交流と対応

③マタニティカフェ

(毎月 第3木曜10時～ 事前予約制)
～お腹の中から子育てが始まっています～
～お腹の子どもを心穏やかに育てば
しい、そんな思いから

- ①区内の中野子ども病院木野院長とお
茶をしながら適切なアドバイス
- ②お腹の子どもに語りかける、ママ手
作りのメッセージカードづくり

＜対象＞

- ①大人、大人と同伴の小学生(5年生以上)
- ②ものわすれのあるご本人と家族、介護者
- ③妊娠中の方と同伴の子ども(1歳児まで)

＜特徴＞医師会との協働

五感に届く、癒しの環境

町家カフェゆるりは、一歩足を踏み入
れただけで、心も身体も癒されていくよ
うな空間です。9年前より、理事長・柴野
奈津子さんが実家を改装して開設。

お客さまの声を聴きながら、落語や
コンサート等のイベントを開催し、地域
の人たちの居場所になっていました。

開設から9年をむかえ、昨秋から改め
て目的のあるカフェの開設。「しんどい
想いをしている人たちに少しでも癒し
てもらい、楽になってもらえる、そんな



▲和室いっぱいのボランティアとともに過ごすマタニティカ
フェの提供ができれば」と旭区医師会も
のわすれ出張相談&カフェ「町家クラ
ブ」とマタニティカフェをそれぞれ月1回
開設しています。

医師ともリラックスして話せる

カフェ「町家クラブ」、マタニティカ
フェには毎回、医師がこれら家族や本人
と一緒に茶をしながら、気軽に相談
をされ、アドバイスを受け、不安の解消
を図られています。

「相談のない時は、先生と将棋をし
たり、皆さんもくつろがれ、おしゃべりが弾
み、表情も明るく、笑顔で帰られる姿を見
ると本当にうれしくなります」と柴野さん。

カフェ「町家クラブ」は、医師のほか、
地域包括支援センター職員、区社会福祉
協議会職員、オレンジリングの認知症サ
ポーター等が関わり支えられています。

マタニティカフェでは、「院長とお茶



▲院長とお話の会。カフェならゆっくり話せる



▲お腹のこどもに向けてのメッセージカード作り

をしながらのお話し会」を開催。「病院
でみるのは病気のお子さんばかり。ここ
なら、元気な時の子どもと会え、育児や
予防になるアドバイスもできます」と穏
やかに話される木野院長。

子育て経験者が細やかにサポート

マタニティカフェでは、生まれてくる
赤ちゃんを将来のママに向けて、オリジ
ナルのメッセージカードを手作りしま
す。子育てに疲れた時に、カードをみて
元気をだしてもらおうためです。

オリジナルカードの指導者(ボラン
ティアの赤穂香葉さん)は「参加者同
士が話しやすい雰囲気づくりを一番大
切にしています」

同・浮田雅代さんは「離乳食の作り方
など、子育て時代に私が教えてもらった
ことを伝えた時にホッとした顔を見るの
がうれしい」と話されました。

また別室では子育て経験豊かなボラ
ンティアが、子どもを見ている間にママ
達は、医師とお茶をしたり、カードを
作ったりと、心穏やかなひと時を過ごし
ています。

＜場所・問い合わせ先＞

〒535-0021

大阪市旭区清水2-20-17

☎06-4254-6886

「認知症カフェ」の普及を推進しています

大阪市では認知症になっても安心して暮ら
せるまちづくりを推進するため、認知症の方やその
家族、地域住民が集う「認知症カフェ」の普及を進
めています。認知症カフェとは、認知症の方やそ
の家族が気軽に立ち寄ることができ、「安心でき
る居場所」「地域住民の相互交流」「認知症の正し
い理解」を提供できる場所のことをいいます。

「認知症カフェをはじめたい」「さらに充実させたい」といった場合、まず各区の認知症地域
支援推進員まで、お問い合わせを。運営に必要な情報提供のほか、専門職・相談員の紹介
や派遣、大阪市のホームページへの情報掲載などの側面的支援をおこなっています。

認知症カフェについてのご相談&お問い合わせ先

認知症初期集中支援推進事業の連絡先

<http://www.city.osaka.lg.jp/fukushi/page/0000287657.html>



講座案内

【市民向け講座】市内在住、在勤、在学の方

講座名	日 時	受講決定	講 師	内 容	その他
介護実習講座 介護者のための調理講座	8月26日(金) 27日(土) 2日間とも 13:00～16:00	開講日の約2週間前 に受講証をお送りし ます	大阪市在住地域活動 栄養士の会大地の会	介護者のために短時間で、簡単にできる調 理法や介護食について調理実習を行いな がら学びます ※会場は阿倍野区民センター	定員 各14人(抽選) 締切 8月12日 受講料 各800円 (材料代、資料代、保険代)

◆市民向け講座の申込み方法◆

ハガキ・FAX・メールに次の必要事項を記入して、お申し込みください。(当センターホームページや電話での申込みも受け付けます。)

(必要事項) ①講座名と希望日 ②名前(ふりがな) ③郵便番号・住所 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥大阪市在住でない場合は、勤務先または学校名
と所在地 ⑦介護経験の有無(有の人は年数も記入)

【福祉従事者向け研修】

申し込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
●多職種連携・地域協働・地域 課題の発見と解決に向けて 地域を基盤とした ソーシャルワーク研修	9月1日(木)、 12月1日(木) 2日間とも 13:30～16:30	大阪市内の福祉関 係施設・事業所に勤 務する方	大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 桃山学院大学 教授 松端 克文	個別支援・地域自立生活支援・地域支援の一 体的支援である「地域を基盤としたソーシ ャルワークの実践」の基本を学び、地域福祉を 推進する人材を育成します	定員 50人 締切 8月5日 受講料 3,000円
●メンタルヘルス研修 主任・リーダー職員対象 「より良いチームづくりと リーダーの役割」	9月14日(水)、 15日(木) 2日間とも 10:00～16:30		女性ライフサイクル研 究所フェリアン 副所長 津村 薫	職場の要である主任・リーダー職員として、 ストレスマネジメントを学び、自身のメンタ ルヘルスだけでなく、部下へのメンタルサポ ートの知識と技術を習得し、良質なサービス を提供できるチームづくりを目指します	定員 50人 締切 8月5日 受講料 6,000円
●リスクマネジメント研修 一般職員対象	9月23日(金) 10:00～16:30		兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松 真人	リスクマネジメントとは何かを学び、リスク を生みださない考え方や記録の書き方、コン プライアンス(法令遵守)など具体的に気 をつける点について学びます	定員 50人 締切 8月22日 受講料 3,000円
●リスクマネジメント研修 主任・リーダー職員対象	10月11日(火) 10:00～16:30			リスクマネジメントやコンプライアンス(法 令遵守)への気づきから、リスクを生まない 環境づくりを学びます	定員 50人 締切 9月12日 受講料 3,000円
●組織運営・管理研修 財務管理研修	10月6日(木) 10:00～17:00	大阪市内の福祉関 係施設・事業所の会 計担当の方	公認会計士・税理士林 光行事務所 税理士 林 竜弘	組織の経営強化に向けて、「社会福祉法人 会計基準」に基づく、会計実務等に係る知 識・技術を習得し、会計実務の向上を図り ます	定員 50人 締切 8月25日 受講料 3,000円
●高齢福祉関係研修 生き残るデイサービスづくり ～デイでできる具体的な リハビリ内容～	10月18日(火) 13:30～16:30	大阪市内の高齢福 祉関係施設・事業所 に勤務する方	(株)ライフケイイチロー デイサービス 代表取締役 一谷 勇一郎	総合事業のサービスに移行されることにつ いて行政が事業所に求めている内容をお 伝えし、後半は、日々の生活の中で実践で きるエクササイズについても実技を交えて お話しします	定員 50人 締切 9月1日 受講料 1,500円
●認知症介護研修 基礎研修 第3回	11月8日(火) 9:30～17:10	大阪市内の介護保 険施設・事業所等に 従事する方	認知症介護指導者	認知症介護に携わる者が、その業務を遂行 する上で基礎的な知識・技術とそれを実践 する際の考え方を身につけ、チームアプ ローチに参画する一員として基礎的なこと を学びます	定員 100人 締切 9月23日 受講料 4,000円
●認知症介護研修 地域密着型サービス認知 症介護研修	(1)開設者コース 10月11日(火) 13:00～17:15 11月1日(火) 9:30～14:15 (2)管理者コース 11月1日(火) 9:30～17:15 11月11日(金) 13:00～17:15 (3)計画作成担当 者コース 11月1日(火) 12:30～17:15 11月16日(水) 10:00～17:15	大阪市内の介護保 険施設・事業所等に 従事する各コース対 象の方	認知症介護指導者 等	認知症介護を提供する地域密着型サービ ス事業所の開設者、管理者、及び計画作成 担当者がそれぞれ必要な知識・技術を身に つけることにより、認知症高齢者に対する 介護サービスの充実を図ります	定員 3コースあわ せて90人 締切 9月9日 受講料 各5,500円
●キャリアパス対応生涯研修 管理職員コース	11月18日(金) 25日(金) 2日間とも 9:30～17:00	大阪市内の福祉関 係施設・事業所に勤 務する管理職の方	関西福祉科学大学 教授 津田 耕一 大阪教育大学 准教授 新崎 国広	管理者としての役割を遂行するための基 本を習得し、キャリアアップの方向を示唆し ます	定員 30人 締切 10月7日 受講料 6,000円+ テキスト代1,000円

◆福祉従事者向け研修の申込み方法◆

当センターのホームページから申込むか、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください。

◆上記の申込・問合せ先◆

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

☎06-4392-8272

🌐<http://www.wel-osaka.jp>

✉kensyu@shakyu-osaka.jp

大阪市の認知症介護関連研修・講座のご案内

大阪市社会福祉研修・情報センターでは、認知症関連のさまざまな研修や講座を開催しています。

対象者 大阪市内の介護保険施設・事業所等にお勤めの方

認知症介護 指導者養成研修

研修内容 ▶ 研修の講師となる指導者を養成します
受講対象 ▶ 認知症介護の実務経験が5年以上で、実践リーダー研修修了者

認知症介護 実践リーダー研修

研修内容 ▶ ケアチームのリーダーを養成します
受講対象 ▶ 介護の実務経験が概ね5年以上で、実践者研修修了後1年以上

認知症介護 実践者研修

研修内容 ▶ 認知症の方やその家族の生活の質の向上を図る対応や技術を習得します
受講対象 ▶ 介護の実務経験が概ね2年以上の介護職員等

平成28年度新設 認知症介護基礎研修

研修内容 ▶ 認知症介護の基礎的な知識・技術を習得します
受講対象 ▶ 新任の介護職員等

この研修は、厚生労働省が策定した「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」に基づき平成28年度に創設されたものです。

問合せ 大阪市社会福祉研修・情報センター 大阪市西成区出城2-5-20 ☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272

対象者 大阪市民または大阪市内にお勤めの方

キャラバン・メイト 養成研修

地域で暮らす認知症の方をサポートする『認知症サポーター』を養成するため、実際に地域や企業などにおいて、『認知症サポーター養成講座』の講師役を担っていただく方を養成する研修です。認知症の理解やご本人や家族の方を地域でどう支えるか等について学びます。（年間3回実施）

問合せ 大阪市キャラバンメイト事務局 大阪市西成区出城2-5-20 ☎06-4392-8188 FAX06-4392-8185

市民のための 認知症介護講演会

「認知症の治療とケア」 11月6日(日) 午前10時～12時(予定)

認知症の症状やその原因について理解を深めるとともに、基本的な治療方法、症状への対応方法について学びます。募集については10月号でお知らせします。

問合せ 大阪市社会福祉研修・情報センター 大阪市西成区出城2-5-20 ☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272

認知症を理解するための研修会

「若年性認知症の人や家族を支援する取組み」 ～あなたにもできることを考えよう～

目的／近畿圏で若年性認知症の人や家族を支援する取組みは広がっています。若年性認知症の人の支援には様々な資源が必要であり、社会資源が少ない中、地域を大阪市内だけに限定せず、情報を知っておくことが必要になります。近畿圏での取組みを紹介し、それぞれの立場でできることを考えていきましょう。

日時／8月27日(土)午後1時30分～4時30分

場所／大阪市社会福祉研修・情報センター 5階 大会議室（大阪市西成区出城2-5-20）

内容／(1)若年性認知症の人たちを中心にした活動紹介

・家族会の取組み ・趣味の取組み ・仕事の取組み

(2)近畿圏での取組み ・関西で活動しているグループの1分間リレーアピール

申込先／大阪市高齢者相談支援サポート事業

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20 ☎06-4392-8188 FAX06-4392-8185

申込方法／ハガキ・FAXに次の必要事項を記入して、お申し込みください。

①研修名 ②名前(ふりがな) ③郵便番号・住所 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥勤務先名と職種

どなたでも
ご参加
いただけます



福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(管理職員コース)

受講者募集のご案内

5ページに申込方法があります

この研修は、福祉・介護職員が自らのキャリアアップの道筋(キャリアパス)を描き、それぞれのキャリアパスの段階に応じて共通に求められる能力を段階的・体系的に習得することを支援します。

目的▶管理職員の役割としてのを遂行するための基本を習得し、キャリアアップの方向を示唆する

- (1) 管理職員としてのキャリアデザインと職場環境整備のあり方を学ぶ
- (2) 福祉サービスの基本理念と倫理の徹底・浸透のための手法を習得する
- (3) 管理職員としてのリーダーシップの醸成を図る
- (4) 管理職員としてのキャリアアップの啓発課題を確認し、方向性を明確にする
- (5) 職場管理・役割行動に関する行動指針を確認し、挑戦目標を設定する

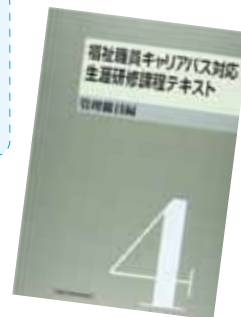
受講対象▶大阪市内の福祉施設・事業所に勤務する管理職の方

日程▶11月18日(金)、25日(金)の2日間
両日 午前9時30分～午後5時



授業は2日間ですが、研修成果を高めるため「事前学習およびプロフィールシート」の取り組みが、研修受講の必須条件となります。

修了証書▶全課程出席者に、大阪市社会福祉研修・情報センター所長名の「修了証書」を交付



講座見聞録

国際セミナー

「イギリスの子どもの貧困 ～先進事例から貧困の連鎖を断ち切る 方途を考える～」を開催しました。

大阪市社会福祉研修・情報センターで、6月10日に英国の児童貧困対策の中身とその成果について学ぶことを目的に、ポーツマス大学教授であり、政府貧困対策アドバイザーでもあるダン・フィン先生をお招きして国際セミナー開催しました。

地域福祉の視点からイギリスの反



貧困活動の先進例を学び、子どもの貧困の状況や貧困をもたらす要因の分析、国や自治体の対策とその効果などを関西学院大学の山本先生を司会に迎え、同大学の林先生による同時通訳にてお伝えしました。

まず、子どもの貧困とは何か?なぜ子どもの貧困が重要なのか?をお話されました。

英国における子どもの貧困削減政策とその取り組み、国の責任および地方の責任のあり方、そしてその対策の中身と特に自治体施策の実効性をお話され、英国の経験から得られるいくつかの教訓をもとに成果と限界につ



いてパワーポイントのスライドを使用しながらお話されました。

参加者アンケートでは「福祉、雇用、教育等が連携したイギリスの政策について知ることができ大変勉強になりました。」「イギリスでのノウハウを基に日本流のアレンジをして貧困が改善できることを願います。」といった感想があり、イギリスの貧困解決の先進事例を聞くことにより、わたしたちがいま、なくてはならない子どもの貧困の取り組みについて考える貴重な機会となりました。

図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報



図書紹介

『つながるカフェ コミュニティの〈場〉をつくる方法』

山納 洋 著
学芸出版社 2016年

コミュニティカフェを開けば、イベントで人を集めれば、「場づくり」になるのか? 「人が成長する場」、「他者とつながる場」、「創発を生む場」としての「カフェ」を成立させるための機微と方法論を解説する。



『老後親子破産』

NHKスペシャル取材班 著
講談社 2016年

「老後破産」は老人だけのことではない。年金もあり、それなりの預貯金もあり、持ち家もあり、幸せな老後を送れると思っていたのに…。NHKで放送された番組を書き起こした衝撃のルポルタージュ。



『お年寄りとコミュニケーションが深まる! 楽しく盛り上がるレクリエーション100』

加藤 翼 監修
ナツメ社 2016年

「体を動かすレク」「頭を使うレク」「音楽を使うレク」「ものづくりレク」を100種類紹介! オールカラーのかわいいイラスト付きの解説でわかりやすい!



DVD紹介

『発達障害と虐待～教育現場で 何かを感じたら～ 全2巻』

アローウィン 35分(1巻)・45分(2巻)
2011年

第1巻「気づきとその理解のために」、第2巻「適切な対応のために」。具体的な事例をとおして、発達障がいと虐待の関係性の理解と、虐待の防止に向けた基本的な考え方を解説する。



『被災地に来た若者たち』

太郎次郎社エディタス 60分
2016年

3.11の被災地に全国から集まってきた若者たちを撮ったドキュメンタリー。被災者の「ありがとう」の一言に、彼らは“生きている手応え”、“自らの存在意義”を発見していく。



『おかあさんの木』

東映 114分 2016年

7人の息子たちが兵隊にとられる度に、桐の木を植え、大事に育てながら無事に帰ってくるのを待つ母親の姿をとおりて、戦争の悲惨さを伝えた映画。



募集!!

☆あなたの周りに眠っている古本はありませんか? ☆



9月1日～10月31日まで当センター1階エントランスに誰でも気軽に本と触れあうことができる「古本立ち読みコーナー」を設置します。この「古本立ち読みコーナー」に設置する古本を募集しています。

11月には「リサイクルブックフェア」を開催し、「古本立ち読みコーナー」で展示していた本を無料でさしあげるイベントを行う予定です。みなさまのご協力をよろしくお願いします!



●募集締切/8月31日(水)

●受付場所/大阪市社会福祉研修・情報センター
1階 事務所・2階 図書室

●本、絵本、マンガなどジャンルは問いません。
何冊でもOK!

●読めないほど傷んだ本の寄贈
はご遠慮ください。

●寄贈していただいた本は返却
できません。



●大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・ビデオなどを、無料で貸出しております。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉の関心の雑誌などが充実しています。)

開室時間: 月曜日～土曜日 午前9時30分～午後5時

休室日: 日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始 ☎06-4392-8233





大阪市民の死亡原因第1位は「がん」です。がんは2人に1人になる病気、定期的に検診を受けましょう。

大阪市では次のがん検診を実施しています。

検診種別(方法)	対象・受診頻度※1	料 金	実施機関
胃がん検診 (胃部エックス線撮影)	受診日現在40歳以上の大阪市民 (年度中1回)	500円	保健福祉センター
		1,500円	取扱医療機関
300円		保健福祉センター	
		取扱医療機関	
肺がん検診 (胸部エックス線撮影) (ハイリスク者には喀痰細胞診 検査も併せて実施)		無料 (喀痰細胞診検査 400円)	保健福祉センター
			取扱医療機関
子宮頸(けい)がん検診 (子宮頸部細胞診)	受診日現在20歳以上で前年度に 受診されていない女性市民 (2年に1回)※2	400円	取扱医療機関
乳がん検診	超音波検査 ※視触診あり	1,000円	取扱医療機関
	マンモグラフィ検査 ※視触診の有無は医療 機関によって異なる	1,500円	保健福祉センター ※視触診なし 取扱医療機関

がん検診以外の検診も実施しています。

検診種別(方法)	対象・受診頻度※1	料 金	実施機関
〈特定健診等と同時実施〉 B・C型肝炎ウイルス検査 (血液検査)	当該年度において40歳以上の大阪市民で過去に同等の検査を受けたことがない方	1,000円	保健福祉センター 取扱医療機関
骨粗しょう症検診 (踵骨超音波測定法)	18歳以上の大阪市民	無料	保健福祉センター
歯周病検診 (問診・口腔内診査)	40・45・50・55・60・65・70歳の大阪市民※3	500円	取扱歯科医療機関

※1 いずれの検診も、勤務先等で同程度の検診を受診できる方、検診部位の病気等で治療中・経過観察中の方、自覚症状のある方、同一年度中に会社や病院、他の自治体で同等の検診を受診した方は対象外です。また、無料受診の該当者等については、大阪市ホームページ等でご確認いただくか、各区保健福祉センターへお問合せください。
 ※2 平成28年度は受診対象の目安として、生まれ年が大正・昭和で奇数年、平成は偶数年の方をご案内しています
 ※3 平成28年度は昭和21年、26年、31年、36年、41年、46年、51年生まれの大阪市民の方

問合せ 大阪市健康局健康推進部健康づくり課(成人保健) ☎06-6208-9943

大阪市国民健康保険加入者へは生活習慣病の健診も実施しています。

対象者等	料 金	実施機関
特定健診	大阪市国民健康保険に加入されている40歳以上の方(来年度の3月31日までに40歳になる方を含みます)	無料 (要受診券) 保健福祉センター等 取扱医療機関

問合せ 大阪市福祉局生活福祉部保険年金課 ☎06-6208-9876

●健康と思う今こそ、受けよう検診!●

今月の 自助具 導電スティックフォルダー

資料提供 HUMAN 岡田 英志さん

主な適応疾患・対象者 ▶ 手指の筋力低下、麻痺のある方。

機能・特徴 ▶

● 指でスマートフォンやタブレットのタッチ画面を触ることができない人が導電ペンの付いたフォルダーに手を通して保持することで、操作ができる。

使い方 ▶

● 導電ペンの付いたフォルダーに手を通して保持し、タッチ画面にペン先をタッチさせて操作する。



問合せ ▶ 大肢協ボランティアグループ・自助具の部屋
☎06-6940-4189 (月・水・金 10:00~15:00)

健康生活 応援グッズ

より良い睡眠を

介護用ベッド

対象疾患を広げ、
使いやすさと安全性がさらに向上



●ミオレットII

背上げ時の身体のズレを抑える機能や足上げ機構により、心疾患や下肢のむくみなど、さまざまな対象者に対応しました。ユニバーサルデザインのボードで利用者にも介助者にもやさしいベッドです。

昼は介護ベッド
夜はおふとん



●超低床フローアーベッドFLB-03J

ベッドの高さに不安のある方、転落の危険性が高い方、床板面の高さを110ミリまで下げられ、転落時の衝撃を緩和します。布団での就寝になれた方でも不安なくお使いいただけます。

かつてない身体にやさしい
起きあがり



●楽匠Z

従来の背と膝の動きにベッドの傾斜を組み合わせた、革新的な背あげ機構は、これまでにない視界の広さ、身体の動かしやすさ、離床のしやすさを実現しました。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会 事務局
〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54
大阪社会福祉指導センター内

☎06-6762-7895 FAX06-6762-7894

http://kansil.jp

福祉・介護専門職のキャリアアップをサポート!

福祉・介護職員のキャリアデザインノート 受講履歴管理手帳

定価 600円(税込)

福祉援助職として、プロフェッショナルの力を高めるため、生涯にわたる学びを指し示す「大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図」と、これまでの研修受講が記録できるシートがセットになった「福祉・介護職員のキャリアデザインノート 受講履歴管理手帳」を販売しています。

- (内容)
- A4判・リングファイル
 - 人生カレンダー
 - キャリアデザインシート(ワークシート編) 2ページ
 - 大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図
 - 受講履歴管理ページ(受講履歴シート編) 9ページ
 - ビニールファイル4枚

発行者: 大阪市福祉人材養成連絡協議会
大阪市社会福祉研修・情報センター
問合せ・申込み先: ☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272
✉kensyu@shakyo-osaka.jp

これ1冊に
受講履歴を
ファイリング。
修了書や資料が
散逸しません!



割引クーポンが
ついています!

大阪市社会福祉研修・情報センターの主催研修の
受講料が500円割引されるクーポンが、キャリアデ
ザインノート1冊に1枚ついています

クーポン有効期限
平成28年4月1日～平成29年2月28日

カタチ にする 7口

パンフレットやカタログなど、
作りたいものがカタチにならず困っていませんか?
当社が企画から納品にいたるまで、各専門スタッフが、
お客様のイメージをカタチにします。

TOTAL CREATION
AD.EMON
株式会社 アド・エモン

〒530-0045 大阪市北区天神西町8-19 法研ビル5F
TEL: (06) 6362-1511 (代) FAX: (06) 6362-1510 E-mail: info@ad-emon.com
<http://www.ad-emon.com>

(広告)

福祉職員のための メンタルヘルス相談

毎週土曜日と、毎月第1・3水曜日に開設しています。

疲れやすい、やる気がでない、眠れない、
対人関係がうまくいかない...など
福祉の仕事に携わる方のストレスから生じる
さまざまな問題の相談に応じます。



まずはご予約ください

電話または来所によるカウンセリングを行います。

☎06-4392-8639

✉kensyu@shakyo-osaka.jp

カウンセリングの流れ

▼まずはご予約

- お電話、メールから
ご予約いただけます。

TEL ☎ 平日の9:30~16:30
or
E-mail ✉ 24時間

▼カウンセリング

- 困っていること、相談したいことについて電話や来所で話し合い。

▼継続

- アセスメント、目標やカウンセリング方法につ
て話し合い、ご提案。
- あなたの問題やニーズに応じたカウンセリング

▼終結

- 問題解決
- 情報提供
- アドバイス

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・
情報センターのご案内

開館時間／午前9時から午後9時まで（土・日曜日は午前9時から午後5時まで）

図書・資料閲覧室は午前9時30分から午後5時まで（月～土曜日）

休館日／国民の祝日（土・日曜日と重なる場合は除く）、年末年始（12月29日～翌1月3日）

項 目	直通電話番号	お問い合わせ時間
会議室など利用の問い合わせ	06-4392-8200	午前9時～午後9時（土・日午後5時まで） （会議室の申込・お支払いは午前9時30分～午後5時）
研修関係の問い合わせ	06-4392-8201	午前9時～午後5時
図書・資料閲覧室の問い合わせ	06-4392-8233	午前9時～午後5時

※平成28年4月1日から、敷地内全面禁煙です。ご協力ください。

貸室ご利用の皆様へ

大阪市社会福祉研修・情報センターでは、貸室ご利用の皆様により、
計画的に便利にご利用いただくため、空室状況を公開し、FAXによる申
し込みを受け付けています。

① 空室状況をホームページに掲載しています。

空室状況は、ホームページの「貸室のご案内」→「空室一覧」に、PDFで
6か月分掲載。

ウェルおおさか 検索

② 利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前から、電話や直接窓口で予約いただいたうえ、所定の
用紙で申し込みください。

受付時間は午前9時30分から午後5時まで

☎06-4392-8200

●FAXによる申し込み手続きの手順

FAXによる申し込みは、ホームページの「貸室のご案内」→「FAXでのお申
し込み」に、申込手順を掲載しています。

FAX 06-4392-8206

※FAXでの申し込み可能な期間は、利用日の6か月前の午前9時30分
から利用日の3日前までです。

■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午 前	午 後	夜 間	昼 夜 間
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

（単位：円）

交通／ご来所には【市バス】【JR】【地下鉄】をご利用ください

●市バス

「長橋二丁目」バス停すぐ
52系統（なんば～あべの橋）

●JR大阪環状線・大和路線

「今宮」駅から徒歩約9分

●市営地下鉄・四つ橋線・御堂筋線

「花園町」駅（①・②出口）から徒歩約15分

「大国町」駅（⑤出口）から徒歩約15分

所在地／〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体／大阪市

運営主体／（指定管理者）
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電 話／☎06-4392-8200（代表）

ファックス／FAX 06-4392-8206

U R L／http://www.wel-osaka.jp/

人権啓発キャッチコピー

【テーマ】いじめ問題

ふりはいいりません（助けるふり、心配するふり、しらんふり）

濱田 祥佳さん（平成27年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー高校生生の部 大阪市賞）